

長文読解問題におけるオンラインメディア題材  
—2011～2013年度の教員採用試験（英語）の場合—  
Online Media Materials for English Reading Comprehension  
Teacher Employment Examinations for 2011-2013

吉野 康子  
Yoshino Yasuko

はじめに

本稿は、2011年度から2013年度の教員採用選考試験（以下、教採試験）の読解問題の題材を取り上げ、とりわけ、オンラインメディアから発信されたものに焦点を当てる。オンラインメディアとは、インターネットを介して発信しているものであるが、近年、ますます身近な情報源となり、教員として世の中の動きを把握するにも必要である。河原（2012）が、「英語が圧倒的優位の言語であるインターネットを通じて、日本語だけではカバーできない情報が入手でき、この拡張度は爆発的である」というように、教採試験の問題にもオンラインメディアの題材が増えている。しかし、「利便性を追求して我々が構築した英語メディアという道具によって、我々の現実までもが世界の人々によって構築されてしまう」（河原2012）という負の面も考えるべきである。教採試験で扱われているオンラインメディアは、どのような題材で、適切なものなのか分析していきたい。

長文読解問題の題材に焦点を当てるのは、まとまった文章には、必ずメッセージがあり、その内容が重要だと考えるからである。特に英語教育は、ことばに関わる教育である。「ことばを扱う際、それがどのようなものであれ、その意味するところつまり題材に迫らなければ、ことばの教育の重要な一面が失われる」（森住1992）からである。

以上の立脚点から、本稿の目的は以下の2点である。

1. 近年の教採試験の長文読解問題の本文の題材など全体像を把握する。
2. オンラインメディアの題材と設問を分析し、考察する。

対象の試験問題は、受験者・採用者総数が多い、関東・関西近辺の25縣市とし、2011年度、2012年度、2013年度の英語科専門教養の1次試験である。その中の長文読解問

題とは、英文を読み、内容に関する設問がある問題とする。

種別は、①中学・高校共通10/25県市（40%）、②中学・高校別8/25県市（32%）、③中学・高校一部別（学習指導要領部分）2/25県市（8%）、④中学・高校一部共通5/25県市（20%）のように分ける。

今回の研究対象の25県市は、次の通りである。①東京都、②茨城県、③栃木県、④群馬県、⑤埼玉県・さいたま市、⑥千葉県・千葉市、⑦神奈川県・横浜市・川崎市・相模原市、⑧新潟県・新潟市、⑨富山県、⑩石川県、⑪福井県、⑫山梨県、⑬長野県、⑭岐阜県、⑮静岡県・静岡市・浜松市、⑯愛知県、⑰三重県、⑱滋賀県、⑲京都府、⑳大阪府・大阪市・堺市、㉑兵庫県、㉒奈良県、㉓和歌山県、㉔京都府、㉕神戸市の25種類である。

## I. 長文読解問題の概要

### 1. 調査結果

#### (1) 定義と扱いの割合

長文読解問題とは、英文約300語以上の文章を読み、内容に関する問題があるものと定義する。これは、大学入試問題などと比較し、長文と捉えるには、300語程度の量は必要だと考えるからである。その扱いをみると、2011年度は77問で100%（25/25県市）の扱い、2012年度は93問で100%（25/25県市）、2013年度は82問で96%（24/25県市）の扱いがあることから、英語能力問題の中で、長文読解問題は重要視されていることがわかる。

#### (2) 長文読解問題の題材・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料1

長文読解問題では、どのような題材を出題しているのかを、まとめたものが、資料1である。2011年度の77問、2012年度の96問、2013年度82問の題材を25県市別にまとめると、各県市で、1種類から5種類の長文読解問題を出題し、その内容が多岐にわたることがわかる。これらの題材を13の種類別にまとめると、以下のようになる。これらの13種類は、大学教科書協会の種別を参考にし、教採試験に合わせて、筆者が分類したものである。

2011年度から2013年度の扱いの比率変化を→で表してある。

- ①言語一般 8%→7%→13%：第二言語習得、臨界期仮説、消滅する言語など
- ②英語 4%→2%→4%：Lingua Francaとしての英語、Englishes時代の英語技能など
- ③文化一般 8%→8%→10%：異文化交流の留意点、文化による社会規範・男女の役割など
- ④英語圏文化 1%→1%→4%：英国の携帯電話のマナー、アメリカの肥満問題と対

処法など

- ⑤教育一般15%→16%→11%：教育の目的、教育の制度、評価、クラス経営の留意点など
- ⑥英語教育12%→16%→23%：4技能の指導法、語彙指導、動機付け、言語活動など
- ⑦経済5%→10%→5%：貧困のない世界の構築、農業と経済活動、景気後退の影響など
- ⑧科学・医学・生物21%→17%→11%：人間の生得的能力、ips細胞研究、臓器移植など
- ⑨環境5%→3%→5%：熱帯雨林の生態、地球温暖化、森林破壊と環境問題など
- ⑩自伝・伝記6%→6%→5%：マイケルJフォックスの闘病記、ヘレンケラーなど
- ⑪小説・物語0%→2%→1%：“Frog and Toad”、“The Independent”など
- ⑫人間関係1%→9%→0%：父と息子の絆、人間関係における賞賛の意味など
- ⑬その他4%→3%→8%：印刷技術の歴史、難民問題、カウンセラーの募集広告など

### (3) 出典

本稿では、オンラインメディアに焦点をあてるが、その出典の割合は以下の表1の通りである。オンラインメディアとは、インターネットを介して発信し、なおアドレスが明白なものであり、オフラインメディアとは、紙ベースの英字新聞記事などである。書籍に関しても、出典を明示しているものだけを分類したものである。

表1 2011年度～2013年度の長文読解問題の出典

| 年度(問題数)   | オンライン数(%) | オフライン数(%) | 書籍数(%)   | 出典の記述なし |
|-----------|-----------|-----------|----------|---------|
| 2011(77問) | 8(10%)    | 4(5%)     | 35(46%)  | 30(40%) |
| 2012(93問) | 7(8%)     | 5(5%)     | 49(53%)  | 32(34%) |
| 2013(82問) | 9(11%)    | 11(13%)   | 32(39%)  | 30(37%) |
| 合計(252問)  | 24(10%)   | 20(8%)    | 116(46%) | 92(36%) |

## 2. まとめと考察

まず、2011年度、2012年度、2013年度の長文読解問題を13の種類に分け、分析結果を見ると、問題数は77問、93問、82問と変化はあるが、題材の種類別の割合には大きな変化がないことがわかった。種類別では、言語・文化・教育に関する題材が、2011年度が48%、2012年度が50%、2013年度が65%と、非常に比率が高いことがわかる。これは非常に意義があることと考える。理由は、英語教育において、ことばに反映される物事のとらえ方の違いに気づくことを、大切にしたいからである。井村(2002)においても、「言語文化教育の視点から観た外国語の学習は、＜単なる記号＞の置き換

えではなく、文化に動機付けられたものの見方の違いに気付くことを通して知的枠組みを拡げる契機である」と述べている。また、仲（2012）は、「将来の英語教員の言語文化観が豊かになれば、ひいては生徒のそれを豊かにすることに繋がる」と述べ、教採試験でも重きを置くべきだと思う。

また、2011年度から2013年度の出典に関しては、全体としては、書籍が多いが、情報化社会を反映して、オンラインメディア題材が増加傾向にある。この傾向は、今後とも続くと考えられる。オンラインメディア題材は、どのような内容を取り上げているのか、教採試験として、適切な内容であるのか、第2章で詳しくみていきたい。出典を分析した結果、出典が明記されていないものが、全体で92問（36%）にも及ぶことがわかった。出典があると、信頼性が高まり、理解の助けにもなるので、引用している場合は必ず載せるべきだと考える。これは、出題者のモラルの問題でもある。

## Ⅱ. オンラインメディアの題材

### 1. 調査結果

#### (1) オンラインメディアの題材の出典

2011年度から2013年度のオンラインメディア題材の出典は、大きく分けると、ホームページとスピーチが多いことがわかる。ホームページでは、JICA, Wallstreet, Time, Kingston University, Newsweek, Science News for Kids, UNESCO などのものがある。また、スピーチでは、Steve Jobs 氏、Muhammad Yunus 氏、Tom Hanks 氏、Jimmy Carter 元大統領、Barack Obama 大統領など、有名人が発信したものが多い。

#### (2) オンラインメディアの題材

2011年度から2013年度のオンラインメディアの題材は、24問あり、種類別では、①科学・生物・医学が10問、②教育一般が4問、③英語教育が1問、④伝記・自伝が3問、⑤経済が1問、⑥環境が1問、⑦その他が4問という7種類である。その内容を詳しくみると、以下ようになる。

##### i 科学・生物・医学：10問

- ①核のない世界 (Prague Speech: A World Without Nuclear Weapons, Barack Obama)

[2011年度 茨城県高校]

- ②カルシウムの年齢別必要性

(<http://health.msn.com/nutrition/nutrient-library/articlepage.aspx?cp-documentid=100218957>) [2011年度 千葉県・千葉市]

- ③野生生物病院での動物保護の対応 (Taronga and Western Plains ホームページ)

[2011年度三重県]

- ④相互依存している生態系の種の連鎖反応 (UK National Commission for UNESCO Web ページ) [2011年度大阪府]
- ⑤Aqua Material の優れた機能 (Highlighting Japan, MAY 2010) [2011年度大阪府]
- ⑥核による大惨事を発展させない外交関係 (Jimmy Carter 氏の Novel Lecture) [2012年度岐阜県高校]
- ⑦土星の輪誕生の旧理論と Professor Canup の新理論 (New.com.au ホームページ) [2012年度三重県]
- ⑧カラスの生態と脳の大きさと知能の関係 (The Japan Times ホームページ) [2012年度三重県]
- ⑨水に潜る動物の呼吸方法 (Science News for Kids Web ページ) [2012年度大阪府]
- ⑩不安やストレスが体に及ぼす影響 (Time ホームページ) [2013年度三重県]

ii 教育一般：4 問

- ①日本の教育の概観から見る教育の目的 (Shukan ST WEB サイト) [2012年度岐阜県中学]
- ②政府の EYSFF (Early Years Single Funding Formula) 新制度導入の改善点 (Every Child Matters ホームページ) [2012年度三重県]
- ③教育水準の低い国の事例と JICA の取り組み (JICA's Operation in Education Sector-Present and Future-, September 2010) [2013年度埼玉県・さいたま市中学]
- ④多様な文化に適合する能力 (info.selectinternational.com/blog/bid/112227/Do-You-Know-what-Your-CQ-Score-Is) [2013年度千葉県・千葉市]

iii 英語教育：1 問

- ①英語を社内公用語にする動きと意見 (Daily Yomiuri Online Sep.18,2010) [2012年度長野県高校]

iv 伝記・自伝：3 問

- ① Steve Jobs 氏のスピーチ (<http://news.stanford.edu/news/2005/june15/jobs-061505.html>) [2013年度群馬県中学]
- ② Tom Hanks 氏のスピーチ (The Power of Four) [2013年度富山県]
- ③ George Bush 氏のスピーチ (大統領就任演説) [2013年度山梨県中学]

v 経済：1 問

- ①平和で貧困のない世界の構築 (Muhammad Yunus Creating a World Without Poverty) [2013年度神奈川県・横浜市・川崎市・相模原市]

vi 環境：1問

- ①地球の気候変化 (Time.com, Dec.24,2009) [2011年度千葉県・千葉市]

vii その他：4問

- ①アヒルとガチョウに学ぶ買い物客の歩行速度 (The Times Web)  
[2011年度長野県高校]
- ②孤独に関するエッセイ (Time ホームページ) [2011年度三重県]
- ③世界で幸せな国比較  
(<http://247wallst.com/2011/06/01/the-happiest-countries-in-the-world/>)  
[2013年度千葉県千葉市]
- ④仕事と生活の満足度の国別比較 (Kingston University ホームページ)  
[2013年度三重県]

(3) オンラインメディア題材の設問

2011年度から2013年度のオンラインメディア題材24問の設問を分析すると、選択問題のみのものが17問 (71%)、空欄補充、記述式、和訳などの問題が5問 (21%)、論述式の問題が2問 (8%) である。論述式の設問は2問しかなく、次に具体例を示し、最後の下線部の部分である。

具体例 i：英語を社内公用語にする動きと意見 [2013年度長野県高校]

- ①下線部(1)のように考える人々の意見にはどのようなものがあるのか、Inoguchi 氏のコメントの中で述べられているものを探して日本語で書きなさい。
- ②下線部(2)のように Inoguchi 氏が考える理由を、日本語で説明しなさい。
- ③下線部(3)について、Inoguchi 氏が提案していることを日本語で説明しなさい。
- ④(A)～(C)に入る最も適切な語を、次のア～オから1つずつ選び、記号で答えなさい。

ア subject イ facilitate ウ correct エ command オ apt

- ⑤[ア]に入る最も適切な英語を、前後の内容から判断して一語で書きなさい。
- ⑥次の質問に英語で答えなさい。

- a) What does Mr. Inoguchi think about the adoption of English as an official language by corporations?
- b) What do you think of Mr.Inoguchi's suggestions on English education in Japan?  
Write you comment about it using more than 5 senteces.

具体例 ii：Steve Jobs 氏スピーチ (大学の卒業式に行われたスピーチの一部)

[2013年度群馬県中学]

- ① 文脈に合うように、下線部ア～エの語を適切な形に換えなさい。
- ② (a)～(c)に入る最も適切な語を、ア～エから選び、それぞれ記号で書きなさい。
- (a) ア about    イ him    ウ was    エ being
- (b) ア would have happened    イ would happen    ウ would have never happened  
エ will happen
- (c) ア since    イ as    ウ if    エ but
- ③ スティーブ・ジョブズが波線部のように述べている理由を日本語で書きなさい。
- ④ 本文を要約した次の英文の①～③の(      )内に適切な語を書きなさい。
- \*ただし、それぞれの語は(      )内の最初の文字で始めなさい。

In his second story, Steve Jobs talked about losing something and finding love. When Apple became bigger, he hired another person to ①(h    ) run the company. They had a disagreement. The board of directors sided with the new person and fired Jobs. At first he was upset, but then he started two new companies, which became ②(s    ). One company was bought by Apple, so he returned. At the same time, he met an amazing woman, Laurene, and they got married. His bad experience became wonderful. He said you must ③(k    ) looking for what you love.

- ⑤ スティーブ・ジョブズは、スピーチの最後に卒業生へのメッセージとして、“Don't settle”と繰り返し述べている。メッセージに込められた意味とそれに対するあなた自身の意見を40～50語程度の英語で書きなさい。

## 2. まとめと考察

2011年度から2013年度のオンラインメディア題材は、主に、ホームページやスピーチが多く、24問の種類を分析した結果、科学・生物・医学が10問(42%)と非常に多く、次に教育の題材が5問(25%)と多い。言語・文化・教育の題材が多かった全体の比率と異なるが、オンラインゆえに最新の情報を載せられる利点から、科学・生物・医学が多いことは納得できる。また教育も、学習指導要領の改訂や、世の中の風潮とともに動きがあり、新しい情報は重要である。オンラインメディア題材の出典を見ると、どれも信頼できるサイトであり、数的データとともに、現状を考えるような深い題材が多い。たとえば、「教育水準の低い国の実例と JICA の取り組み」のような問題で、教育をめざす人には、ぜひ考えてもらいたい題材である。

しかし、オンラインメディア題材の長文読解問題の設問を分析すると、選択問題のみが71%、空欄補充、記述式、和訳などが21%で、自分の意見を英語または日本語で述べる問題は希少で、8%に過ぎない。長文の内容をどう考えるか、と問う問題が必要ではないだろうか。このような設問がないと、大学入試問題や資格試験の英文解釈と同じレベルになる。

## おわりに

本稿では、2011年度から2013年度の25県市の教員採用試験（英語）の長文読解問題の題材に焦点をあてた。これは、リーディングの真髄は題材であると考え、教採試験で扱う題材は非常に重要であると考えからである。まず、I章では、長文読解問題の概要をまとめ、題材に関しては、以下の3点がわかった。1点目は、2011年度から2013年度は、長文読解問題の問題数が、合計で77問から93問、そして82問と変化するが、題材の種類別の割合には大きな変化はないことである。2点目は、言語・文化・教育の題材が、2011年度は48%、2012年度は50%と、2013年度は65%と、いずれも比率が高いことである。これらの割合が大きいことは、意義があると考えられる。英語教員になる人は、ことばについて敏感で、言語・文化・教育について考える力が必要であると思うからである。3点目は、長文の出典の調査で、書籍が46%を占めるが、オンラインメディアが増加傾向にあり、出典を明記していないものが36%もあるということである。引用している場合は、必ず載せるべきである。

II章では、オンラインメディアの題材と設問にしぼって、分析・考察した。調査の結果、次の2点を述べた。まず、オンラインメディアの題材は、言語・文化・教育の題材が多かった全体とは異なり、科学・生物・医学の題材が一番多く、次に教育の題材が多い。これらは、現代の状況を反映した題材が多く、多彩であり、教採試験に適した内容であると考えた。もう1点は、オンラインメディア題材の長文読解問題の設問に関してである。選択問題のみが71%、空欄補充、記述式、和訳などが21%で、自分の意見を英語または日本語で述べる問題は希少で、8%に過ぎない。長文の内容をどう考えるか、是非を問う問題が必要ではないだろうか。今後も時代とともに、状況や題材も変わることが予想される。英語教員として、自分の立ち位置を明確にし、考えを述べる問題の必要性を感じる。

今後は、より広範囲な教採試験の題材の分析や、オンラインメディア題材に関する問題の質的調査を継続していきたい。

## 参考文献

- 石田雅近・神保尚武・久村研・酒井志延（2011）『英語教師の成長』大修館書店  
井村誠（2002）「コミュニケーション能力の育成と言語文化教育」『言語文化教育の可能性を求めて』三省堂  
江利川春雄（2006）「日本人はどんな英語を学んできたか」『英語教育』12月号 大修館書店  
———（2009）『英語教育のポリティクス：競争から協同へ』三友社出版



- 大津尚志・坂田仰（2006）『教職の基礎』協同出版
- 大津由紀夫・江利川春雄・斎藤兆史・鳥飼玖美子（2013）『英語教育、迫り来る破綻』  
ひつじ書房
- 大谷泰照（2007）『日本人にとって英語とは何か』大修館書店
- 奥住桂（2011）「これから教員になる人へのメッセージ」『英語教育』3月号 大修館  
書店
- 河原清志（2012）「第2回年次大会の成功を祈念して」『JAMES NEWSLETTER』  
No.117日本メディア英語学会
- 笹島茂・サイモン・ボグ（2009）『言語教師認知の研究』開拓社
- 高島英幸（1995）『コミュニケーションにつながる文法指導』大修館書店
- 高梨健吉（1985）『英語の先生、昔と今』日本図書ライブ
- 高梨芳郎（2009）『データで読む英語教育の常識』研究社
- 高橋一幸（2011）『成長する英語教師』大修館書店
- 津田幸男（2005）『言語・情報・文化の英語支配』明石書店
- 東川直樹（2006）「日本人はどんな英語を学んできたか」『英語教育』12月号 大修館  
書店
- 仲潔（2012）「言語文化観を育成する「英語科教育法」の実践」『言語文化教育学の実  
践』関西言語文化教育研究会 金星堂
- 森住衛（1992）「英語教育題材論」『現代英語教育』4月号 研究社
- （1998）「英文法を見直す視点——〈学習指導要領〉の変遷と将来を見る」『英  
語教育』3月号 大修館書店
- （2004）『単語の文化的意味』三省堂
- 樋口昌彦・島谷浩（2007）『21世紀の英語科教育』開隆堂
- 廣森友人（2006）『外国語学習者の動機づけを高める理論と実践』多賀出版
- 望月正道・相澤一美・投野由紀夫（2007）『英語語彙の指導マニュアル』大修館書店
- 八木克正（2007）『世界に通用しない英語』開拓社
- 吉野康子（2012）「教員採用選考試験（英語）に関する一考察—学習指導要領・指導  
法の扱いの視点から」『言語文化教育研究』第2号 東京言語文化教育研究会
- （2013）「教員採用選考試験（英語）の3つの視点—英語能力・学習指導要  
領・指導法—」『実践女子大学 FLC ジャーナル』第8号 実践女子大学外国  
語教育研究センター
- （2013）「教員採用選考試験（英語）の英語能力問題—長文読解問題の題材を  
中心に一」『言語文化教育研究』第3号 東京言語文化教育研究会
- 米山朝二・杉山敏・多田茂（2013）『英語科教育実習ハンドブック』
- Deci, E. L., & Ryan, R. M. (2004) *Handbook of Self-Determination Research: The*

吉野康子

University of Rochester Press

Dornyei, Z. (2001) *Teaching and researching motivation*. Harlow, UK: Pearson Education Limited

Andrews, S. (2007) *Teacher Language Awareness*: Cambridge University Press

長文読解問題におけるオンラインメディア題材

長文読解問題の題材（2011年度）

資料1-①

|    |         |  |
|----|---------|--|
| 1  | 東京都     | ①森林破壊と環境問題 ②コミュニケーションストラテジー<br>③教職員の研修 ④創造的な活動と人間の生き方    |
| 2  | 茨城県（中学） | ①左脳と右脳の働き  |
|    | 茨城県（高校） | ①オバマ大統領の演説 ②OECDとPISA ③国外で学ぶ日本人と<br>日本で学ぶ外国人の傾向          |
| 3  | 栃木県     | ①第二言語習得の一般的順序 ②虹の見え方 ③不景気の際の市場                           |
| 4  | 群馬県（中学） | ①小学校外国語活動研修ガイドブック ②天声人語（辻井伸行）                            |
|    | 群馬県（高校） | ①遺伝と遺伝子 ②対人関係のエッセイ                                       |
| 5  | 埼玉県（中学） | ①第二言語習得と学習環境 ②子育てにおける体罰                                  |
|    | 埼玉県（高校） | ①教員の無重力飛行体験プログラム ②農業と経済活動                                |
| 6  | 千葉県他    | ①カウンセラーの募集広告 ②語彙習得 ③カルシウムの効用<br>④ボディランゲージ ⑤地球温暖化         |
| 7  | 神奈川県他   | ①『外国人が見た古き良き日本』 ②宇宙（ホーキング博士）                             |
| 8  | 新潟県他    | ①キャリア教育  |
| 9  | 富山県     | ①ジョージオーエルの回想録 ②ブラジルの環境破壊問題                               |
| 10 | 石川県     | ①評価の情報開示   |
| 11 | 福井県     | ①インターネットの変遷と効用 ②コミュニケーションの過程<br>③コミュニケーションスキル ④チームに必要な目標 |
| 12 | 山梨県（中学） | ①多言語の環境で育つこどもの言語   |
| 13 | 長野県（中学） | ①日本人のアイコンタクト ②陸上選手人見絹枝の軌跡                                |
|    | 長野県（高校） | ①買い物客の分析 ②紛争解決と文化交流 ③相手の意見を聴くこ<br>と                      |
| 14 | 岐阜県（中学） | ①英語教授法のリーディングスキル ②eメール                                   |
|    | 岐阜県（高校） | ①学校でのいじめ問題 ②科学の世界 ③医学部生の定員増<br>④英語の差別用語の変遷               |
| 15 | 静岡県（中学） | ①理想の教師像 ②英語学習者の発達段階                                      |
|    | 静岡県（高校） | ①リングフランカとしての英語   |
| 16 | 愛知県     | ①傘に関するエッセイ ②新型インフルエンザ                                    |
| 17 | 三重県     | ①孤独に関するエッセイ ②父と息子の絆                                      |
| 18 | 滋賀県（中学） | ①マイケルJフォックスの闘病記 ②ケニアの動物保護活動                              |
| 19 | 京都府（中学） | ①日本人の世論調査からみる将来像 ②人が生まれながらにもつ特<br>性                      |
|    | 京都府（高校） | ①教育の本来の目的 ②英語の授業における教師の役割 ③未来に<br>夢がもてない子どもたち            |

## 長文読解問題の題材（2011年度）

資料1—②

|    |          |                                    |
|----|----------|------------------------------------|
| 20 | 大阪府他     | ①生物の多様性 ②Aqua Material の機能 ③人間の集中力 |
| 21 | 兵庫県      | ①思春期の心と接し方 ②リスニングスキル               |
| 22 | 奈良県      | ① International English の役割        |
| 23 | 和歌山県（中学） | ①人間の記憶 ②インプット・アウトプットと発話の関係         |
|    | 和歌山県（高校） | ①語彙テストの信頼性 ②言語教師の留意点               |
| 24 | 京都市（中学）  | ①水質管理 ②ライティングの指導                   |
|    | 京都市（高校）  | ①母語と第二言語の関わり ②グループワーク ③アセスメント      |
| 25 | 神戸市      | ①睡眠が記憶を強化するかの議論                    |

長文読解問題の題材（2012年度）

資料1-③

|    |         |  |
|----|---------|--|
| 1  | 東京都     | ①食物連鎖 ②日本語の丁寧語の背景にある文化 ③コミュニケーション主体の英語教育への変遷 ④世界人口増加による経済的影響                             |
| 2  | 茨城県（中学） | ①“I have a dream” ②氷山の氷が溶け見つかった遺体の解明   |
|    | 茨城県（高校） | ①日本人が外国語習得が困難な理由 ②サッチャー氏の治国策<br>③ある家族の食文化 ④原子力発電の問題                                      |
| 3  | 栃木県     | ①コミュニケーション能力 ②蛇、モグラの習性 ③人の相互交流のたとえ   |
| 4  | 群馬県（中学） | ①質の高い学校を目指す教育改革 ②ヘレンケラー  |
|    | 群馬県（高校） | ①感情表現と行動の関係 ②生物種間の加齢の法則  |
| 5  | 埼玉県（中学） | ①語彙指導 ②USにおけるADHDの子供の数と現状  |
|    | 埼玉県（高校） | ①教員評価 ②小説“The Independent”   |
| 6  | 千葉県他    | ①文化による社会規範の違い ②アン・ランダースの人生相談 ③学習ストラテジー ④通信技術の統計レポート ⑤海洋の成分の現状                            |
| 7  | 神奈川県他   | ①第二言語習得と意欲の関係 ②植物の成長とその要素 ③日本で働く外国人の動機・理由 ④新渡戸稲造   |
| 8  | 新潟県他    | ①自己調整方略力の磨き方   |
| 9  | 富山県     | ①人の役立とうとする人達のコミュニケーションスタイル ②環境による魚の生態変化 ③貧しさに付随する心理状態                                    |
| 10 | 石川県     | ①TESOLにおける4技能の関連性 ②科学が予測可能・不可能なこと  |
| 11 | 福井県     | ①話し言葉と書き言葉の関係 ②ネズミの実験による脂肪と認知機能の関係 ③他人への印象と自分の価値観の関係                                     |
| 12 | 山梨県（中学） | ①イギリスでの携帯電話のマナー  |
|    | 山梨県（高校） | ①親の価値基準が影響する子育て  |
| 13 | 長野県（中学） | ①日本の若者の未熟さ ②異文化コミュニケーションの留意点   |
|    | 長野県（高校） | ①演繹的指導の利点・問題点 ②英語の社内公用語化 ③選択肢の多い現代の問題  |
| 14 | 岐阜県（中学） | ①コミュニケーション・アプローチ ②日本の教育の目的   |
|    | 岐阜県（高校） | ①言葉を使ったコミュニケーション ②言葉の変化 ③マクドナルドで使用する油の変更理由 ④クリスマスプレゼントの物語 ⑤先進国が抱える懸念 ⑥Jimmy Carter氏のスピーチ |
| 15 | 静岡県（中学） | ①「日本語上手」の建前論 ②初学習者への語彙指導   |
|    | 静岡県（高校） | ①現代市場の包装の特徴 ②有機食品への関心 ③消滅する言葉  |
| 16 | 愛知県     | ①写真ジャーナリストRobert Capaの自伝 ②不健康な食品輸入による発展途上国の人々の健康被害                                       |
| 17 | 三重県     | ①土星の輪誕生の旧理論と新理論 ②政府が公約した貧しい子供への支援制度 ③カラスの生態と脳の大きさと知能の関係                                  |

## 長文読解問題の題材（2012年度）

資料1-④

|    |          |   |
|----|----------|---|
| 18 | 滋賀県（中学）  | ①クラス経営 ②アメリカの南北同盟 ③電気自動車の将来性                                  |
|    | 滋賀県（高校）  | ①科学者の自分と芸術家の友人の考え方の相違 ②JET プログラム体験記                           |
| 19 | 京都府（中学）  | ①学習と記憶の関係 ②語学学習と動機づけ  |
|    | 京都府（高校）  | ①急速な少子高齢化 ②テストや評価の教育上の役割 ③エネルギー効率と環境へのダメージ ④Englishes 時代の英語技能 |
| 20 | 大阪府他     | ①血液中のヘモグロビンの働き ②ドイツでの日曜大工の文化<br>③人間関係における賞賛の意味                |
| 21 | 兵庫県      | ① Extensive Reading の目的と意義 ②著作権保護と教育                          |
| 22 | 奈良県      | ①リーディングのプロセス ②経験から学ぶこと  |
| 23 | 和歌山県（中学） | ①キノコの種類と生殖機能 ②教室におけるプロジェクト型活動の意義                              |
|    | 和歌山県（高校） | ①外国語学習において文化を学ぶ必要性 ②人類の進歩とその代償                                |
| 24 | 京都市（中学）  | ①災害と経済の関係 ②immersion program の是非 ③語彙学習の重要性                    |
|    | 京都市（高校）  | ①語彙的結束性と文法的結束性 ②自律的学習者 ③語彙学習のアドバイス                            |
| 25 | 神戸市      | ①日本の英語教育に authentic な教材を導入する意義                                |

長文読解問題におけるオンラインメディア題材

長文読解問題の題材（2013年度）

資料1-⑤

|    |          |  |
|----|----------|--|
| 1  | 東京都      | ①熱帯雨林の生態の豊かさ、植物の薬としての価値 ②氷山にたまためた文化的背景 ③テストを実施することで生じる uashhack (波及効果) ④お金の利便性を求める人間の性 |
| 2  | 茨城県 (中学) | ①米文化主体に見た日本文化 ②ヘレンケラーの米国聴覚障害者言語指導  |
|    | 茨城県 (高校) | ①コミュニケーションの役割 ②戸田奈津子氏インタビュー  |
| 3  | 栃木県      | ①リスニングのスキル中心の統合的アプローチ ②ジャガイモの歴史 ③印刷技術と本の歴史   |
| 4  | 群馬県 (中学) | ① Steve Jobs 氏のスピーチ ②ハロルド・E・パーマー「言語学習の原理」 ③クリスマスの Frog and Toad の物語                    |
|    | 群馬県 (高校) | ①第二言語習得の一般論 ②天文学   |
| 5  | 埼玉県 (中学) | ①教育水準の低い国の事例と JICA の取り組み ②ライティングの重要性 ③言語学習による脳の発達の促進                                   |
|    | 埼玉県 (高校) | ①シンガポールの数学教育制度 ②アフリカの食糧不足の現状   |
| 6  | 千葉県他     | ① iPS 細胞研究の歴史と成果 ② CQ の重要性 ③タスク中心の教授法 ④ OECD の調査による幸せな国                                |
| 7  | 神奈川県他    | ①ギリシャ文化と中国文化の対比 ②ノーベル平和受賞者 Muhammad Yunus 氏のスピーチ                                       |
| 8  | 新潟県他     | ①生徒の自己調整学習能力を伸ばす指導の留意点   |
| 9  | 富山県      | ①アメリカでの贈り物のルール ②日本人と欧米人の意志伝達方法の違い ③ Tom Hanks 氏のスピーチ                                   |
| 10 | 石川県      | ①科学技術の脅威 ②第二言語習得と臨界期の関係  |
| 11 | 福井県      | ①パプアニューギニアの種族による性格、男女の役割 ②欧米、中国再生可能エネルギー開発   |
| 12 | 山梨県 (中学) | ①ブッシュ元大統領就任演説  |
| 13 | 長野県 (中学) | ① 5 ドルからお金を増やすプロジェクト ②グローバル化社会の英語  |
|    | 長野県 (高校) | ①英語だけで行う授業の助言 ②ロンドンの伝統的屋外クラシックコンサート ③名前の言い間違いによるエピソード                                  |
| 14 | 岐阜県 (中学) | ① EFL/ESL の授業での Teacher Talk のあり方 ②イギリス人から見た日本の自動販売機                                   |
|    | 岐阜県 (高校) | ①早急な改革が必要な後見人制度 ②アメリカの肥満問題と対処 ③幼児期の学習経験が読み書きの能力に及ぼす影響 ④ IQ テストの限界                      |
| 15 | 静岡県 (中学) | ①英語教育における動機づけ、言語活動の継続の重要性 ②思考力を高めるライティングの教授法   |
|    | 静岡県 (高校) | ①生徒にとって意義や魅力ある言語活動 ②文化による Nonverbal Communication の違いを理解する重要性                          |
| 16 | 愛知県      | ①臓器移植の歴史と問題点 ②多様化する英語に対応する ELT プログラムの必要性   |
| 17 | 三重県      | ①仕事と生活の満足度の国別比較 ②不安やストレスが体に及ぼす影響 ③馬の生物学的本質   |

## 長文読解問題の題材 (2013年度)

資料1-⑥

|    |           |   |
|----|-----------|---|
| 18 | 滋賀県 (中学)  | ①第二言語としての英語教育における Feedback の方法 ②ある大学学部生と大学院生の単位修得の規則                                  |
|    | 滋賀県 (高校)  | ①ビジン・クレオール語の特徴と標準英語との関係   |
| 19 | 京都府 (中学)  | ①語源学から学ぶ英語の奥深さ ②2008年度版学習指導要領の目標から鑑みる読む活動 ③英語学習者の間違いを特定する困難さ                          |
|    | 京都府 (高校)  | ①英語教授法の外観と Krashen のモニター仮説 ②舞台上のセリフと動作の関係 ③読解のプロセスと熟達した読み手の思考方法<br>④楽器の練習例から計画的練習の重要性 |
| 20 | 大阪府他      | ①音節の量による言語の速度感覚 ②職業に関する哲学 ③ M 矮星の多さと地球外生物の搜索  |
| 21 | 兵庫県       | ①英語の多様性を生徒に伝える必要性 ②人間の脳は利他的であるよう設計されている仮説   |
| 22 | 和歌山県 (中学) | ①薬効をもたらす植物の森林がなくなる問題 ② Krashen のモニター仮説、情意フィルター仮説                                      |
|    | 和歌山県 (高校) | ①消費行動と環境的な利益の関係 ②グローバル社会に必要な能力と教育   |
| 23 | 京都市 (中学)  | ①世界難民問題と歴史的動向 ②小学校英語教育必修の問題点 ③第二言語習得過程の中間言語   |
|    | 京都市 (高校)  | ①人間の持つ生得的能力 ② spoken text と written text との比較<br>③ピグマリオン効果                            |
| 24 | 神戸市       | ①食文化の変化と背景  |



## **Abstract**

This paper surveys and analyzes 25 prefectural Teacher Employment Examinations currently (2011, 2012, 2013) used in the Kanto and Kansai regions of Japan. There are three essential qualifications to be tested for the written examinations for future high school English teachers in Japan. They are English language knowledge and skills, knowledge of the Course of Study, and the ideas and practical abilities of teaching methods. In Yoshino 2012, the latter two were examined. In this paper, the first one will be addressed. The main purposes of this study are to examine the quality of the questions and to highlight the right or wrong discussions. The contents are divided into two sections. The first one is the survey of the materials for English reading comprehension. The second one is the analysis of the online media materials for English reading comprehension because online media is essential for us to obtain information. The results of the survey and analysis suggest that the current Teaching Employment Examinations used in the Kanto and Kansai regions do not put a high value on critical thinking about language, culture and education. The point of view held throughout this paper is to consider how to evaluate the overall aptitude of English teachers, and determine what are appropriate examinations.